

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社fonfun

コード番号 2323 URL <http://www.fonfun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林 和之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理部部長

(氏名) 八田 修三

TEL 03-5357-0303

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	576	△27.7	59	11.3	52	△6.7	115	—
23年3月期第3四半期	797	△1.9	53	△14.2	55	46.9	△130	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 107百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △139百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	44.24	—
23年3月期第3四半期	△49.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	866	278	30.8
23年3月期	846	171	17.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 266百万円 23年3月期 150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700	△31.0	59	△17.3	53	△28.5	109	—	41.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	2,661,720 株	23年3月期	2,661,720 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	41,008 株	23年3月期	40,677 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	2,620,918 株	23年3月期3Q	2,621,851 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災や福島第一原子力発電所事故の影響はあるものの、震災で傷んだサプライチェーンも徐々に復旧し始め、復興に向けての動きも一部で見られます。しかしながら、その勢いは強くなく、依然として景気の先行きには不透明感がぬぐえない状況です。海外に目を向けても、タイの洪水やユーロ圏の不安定な財政状況など不確実性が増す中で円高が進んでおり輸出や国内民間需要にも影響を及ぼしております。

当社を取り巻く環境に関しては、業界再編、ビジネスモデルの変化と大きな変革期を迎えております。携帯電話市場に関しては、平成23年12月末における携帯電話・PHSの契約数は126,068,900件（前年同月比4.4%増 社団法人電気通信事業者協会調べ）であり、携帯契約総数の大幅な拡大が望めない中、iPhoneやAndroid端末等のスマートフォンの人気による買い換え需要は増大しており、携帯通信事業各社も、コンシューマー向け戦略では、スマートフォンへ注力した戦略をとっております。コンテンツ市場に関しては、引き続きSNS利用者を対象にした無料ゲームやソーシャルゲームの人気が高く、その利用者を対象にした有料コンテンツ提供や広告配信といったビジネスモデルが好調であり、またスマートフォン上で展開されるコンテンツ配信・販売プラットフォームが新たな市場として注目されております。

このような状況の下、当社グループは、「営業キャッシュ・フロー重視」「事業ドメインを明確にして経営資源を集約する」経営方針のもと、当第3四半期連結会計期間では、スリム化した体制で、当社の強みである既存事業の収益を維持しつつ、主力サービスであるリモートメールを中心として、新たなサービスの開発・提供を実施いたしました。

当社グループの各セグメント別の業績は次のとおりであります。

①リモートメール事業

当第3四半期では、第2四半期で提供を開始した「リモートメール」のスマートフォン向け正式サービスの拡販に尽力いたしました。

「リモートメール」個人版サービスにつきましては、既存利用者の利用継続を第一目的に、他社サービスに対して優位性のある使い勝手のよさをさらに向上させる改善を継続して実施しております。また、既存携帯端末を対象にした携帯電話販売店舗における販促活動は、引き続き強化してまいりました。

「リモートメール」法人版サービスにつきましては、引き続き営業活動を強化し顧客獲得に取り組んでおります。NTTドコモが企業向けソリューションに対して認定するドコモプロスパートプログラムの認定や、NTTドコモが実施している法人向けのタブレットキャンペーンへのバンドルなど、引き続き通信キャリアと連携しての拡販を進めております。

また、光通信グループの携帯電話販売店にて販売している、当社子会社・株式会社FunFusionを販売元とする「モバイル活用パック」も引き続き売り上げに寄与しております。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は533百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は145百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

②コンテンツ事業

携帯電話向けコンテンツにつきましては、利用継続率の高い便利・ツール系サービスに絞り、携帯販売店での販促活動を中心に利用者の獲得をしております。

また、iPhone及びAndroid対応コンテンツの開発を積極的に進め、自社提供及び協業モデルでの展開を図っております。

上記の結果、コンテンツ事業の売上高は 38百万円(前年同期比22.4%増)、営業損失は3百万円(前年同期 営業損失11百万円)となりました。

③その他

その他の売上は、主に過去に発売した家庭用ゲーム機向けパッケージソフトのリピーター受注販売によるものであり、売上高は5百万円、営業利益は1百万円となりました。

※前連結会計年度において「リモートメール事業」、「コンテンツ事業」、「テレマーケティング事業」と区分しておりました事業を、テレマーケティング事業の大幅な縮小にともない、当第1四半期連結会計期間より、テレマーケティング事業を「その他」に含め、「リモートメール事業」、「コンテンツ事業」に変更しております。

なお、テレマーケティング事業の売上高は0百万円(前年同期 202百万円)、営業損失は0百万円(前年同期 営業利益68百万円)であります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 576百万円(前年同期比27.7%減)、営業利益 59百万円(前年同期比11.3%増)、経常利益52百万円(前年同期比6.7%減)、四半期純利益115百万円(前年同期 四半期純損失 130百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は866百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円の増加となりました。その主な要因は、流動資産における現金及び預金の86百万円の増加、長期未収入金の減少41百万円であります。

負債の部は588百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円減少しております。主な要因は、不正事件関連損失引当金の減少21百万円、長期借入金の減少22百万円等であります。

純資産は278百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年11月9日に発表をいたしており、当社及び子会社の現時点での予測に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	382,834	469,662
売掛金	199,319	177,397
製品	35	107
短期貸付金	12,535	7,549
未収入金	56,149	—
その他	25,489	14,845
貸倒引当金	△38,140	△13,261
流動資産合計	638,222	656,300
固定資産		
有形固定資産	48,648	42,389
無形固定資産		
ソフトウェア	11,618	7,910
その他	499	499
無形固定資産合計	12,118	8,409
投資その他の資産		
投資有価証券	86,001	112,011
関係会社株式	25,381	—
長期貸付金	1,129	3,850
長期未収入金	1,419,569	1,378,547
その他	10,585	17,950
貸倒引当金	△1,395,615	△1,352,481
投資その他の資産合計	147,052	159,878
固定資産合計	207,819	210,678
資産合計	846,042	866,979
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,133	2,279
短期借入金	317,708	311,760
未払金	84,856	73,665
未払法人税等	4,535	2,484
賞与引当金	2,146	—
偶発損失引当金	59,406	49,986
不正事件関連損失引当金	21,430	—
その他	11,851	4,806
流動負債合計	504,068	444,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
長期借入金	151,060	128,740
退職給付引当金	11,752	12,608
その他	7,567	2,393
固定負債合計	170,379	143,741
負債合計	674,447	588,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242,605	2,242,605
資本剰余金	636,561	636,561
利益剰余金	△2,555,627	△2,439,054
自己株式	△173,250	△173,318
株主資本合計	150,288	266,793
新株予約権	1,148	208
少数株主持分	20,157	11,252
純資産合計	171,594	278,254
負債純資産合計	846,042	866,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	797,919	576,819
売上原価	184,954	89,410
売上総利益	612,964	487,409
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	137,929	180,966
販売促進費	3,565	598
支払手数料	132,544	106,137
役員報酬	31,200	15,421
給料及び手当	81,611	59,569
地代家賃	21,420	7,940
貸倒引当金繰入額	40	3,211
その他	150,824	53,657
販売費及び一般管理費合計	559,137	427,502
営業利益	53,826	59,906
営業外収益		
受取利息	2,085	2,505
助成金収入	15,165	—
その他	2,068	361
営業外収益合計	19,320	2,866
営業外費用		
支払利息	8,762	8,988
支払手数料	4,549	—
持分法による投資損失	2,371	—
為替差損	26	—
その他	1,445	1,567
営業外費用合計	17,155	10,556
経常利益	55,991	52,216
特別利益		
偶発損失引当金戻入額	—	18,419
償却債権取立益	3,500	—
子会社清算益	982	—
貸倒引当金戻入額	—	73,656
その他	26	3,974
特別利益合計	4,508	96,050

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
特別損失		
固定資産除却損	4,632	—
減損損失	8,343	—
関係会社株式評価損	23,638	—
不正事件関連損失	44,780	—
偶発損失引当金繰入額	59,406	17,215
課徴金引当金繰入額	19,630	—
業務委託契約解約損	—	5,000
訴訟関連損失	—	11,408
貸倒引当金繰入額	37,165	6,756
その他	2,523	—
特別損失合計	200,119	40,379
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△139,619	107,888
法人税、住民税及び事業税	988	848
法人税等調整額	△691	—
法人税等合計	296	848
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△139,915	107,040
少数株主損失(△)	△9,741	△8,905
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△130,173	115,945

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△139,915	107,040
四半期包括利益	△139,915	107,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△130,173	115,945
少数株主に係る四半期包括利益	△9,741	△8,905

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注意事項、個別情報、補足情報等は第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。